

バーチャル 修学旅行で 歴史を学ぼう

広島・長崎・沖縄

無料

コロナ禍で修学旅行の中止や延期が相次ぎ、
戦争体験の校外学習の機会が失われています。
バーチャル修学旅行ではオンラインでの「学びの場」を作ります

10.24 [土] 10:00~12:00 (終了予定)



視聴はHPで・参加希望校お問い合わせ先

<https://www.tv-asahi.co.jp/live-symposium/archive/0001/>



上記のHPのほか、テレビ朝日YouTube、ABEMAニュース緊急チャンネル  などでもライブ配信。どなたでも視聴いただけます

【時間割】

【講師】

- 1時間目 「**広島**の被爆体験 核兵器廃絶への願い」
- 2時間目 「**長崎** 平和への祈り サッカーで実践」
- 3時間目 「**沖縄** 祖母の記憶をつなげる」

サーロー節子
森保 一 サッカー 日本代表監督
りゅうちえる

ご意見番: **保阪正康**
(ノンフィクション作家)



案内人: **大下容子**
(テレビ朝日アナウンサー)



主 催 株式会社テレビ朝日 特別協賛 楽天株式会社
協 賛 ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 くにうみアセットマネジメント株式会社
生活クラブ生活協同組合・神奈川 株式会社 丸井グループ 一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー
後 援 広島市 長崎市 沖縄県 協 力 琉球朝日放送株式会社

第2弾予告 「**坂本龍馬の駆け抜けた青春**」／高知・長崎・京都

講師紹介



サーロー節子 (88)

広島生まれ トロント在住

広島で13歳の時に被爆。351人の学友、そして姉や甥ら9人の親族を失くした。
壮絶な被爆体験を語り続け、核兵器の廃絶を訴えてきた。核兵器禁止条約の国連採択に大きな役割を果たし、2017年のノーベル平和賞受賞式で講演、多くの出席者の心を動かしたとされる。今年は世界197か国の首脳に条約の批准や推進を求める手紙を送るなど88歳の今もその行動力は衰えることはない。

森保 一 (52)

サッカー日本代表監督

長崎出身。被爆2世を自覚し、サンフレッチェ広島監督時代から平和資料館に足を運ぶなど、原爆の悲惨さについて学び、世界に向けても平和の尊さを発信してきた。

「原爆投下を絶対に忘れてはならない、二度と同じことがないよう自分の出来ることをやっていきたい」と話し、選手に対しても、平和の尊さを説くとともに、「苦しんでいる人の励ましになるように試合に臨む、社会に役立つ選手であれ」と話している。



りゅうちえる (26)

沖縄出身タレント

祖母が沖縄戦で集団自決から逃れ生き残った。
おばあ世代から当時の体験を聞き、沖縄戦の悲劇を風化させないよう、後世に伝え続ける大切さを訴える。自分たちのような孫の世代が歴史を受け継ぎながら「前向きに沖縄のことを知ってほしい」と発信し続けている。



進行



●ご意見番
保阪正康 ノンフィクション作家

近現代史研究で知られ、戦前、戦中と日本の指導者とその人物が生きた時代を史料をもとに分析し、「昭和史」の実証的な検証を行ってきた。客観的な事実からわかりやすく歴史の紐を解きほぐす。著書多数。



●案内人
大下容子 テレビ朝日アナウンサー

「大下容子のワイド! スクランブル」のメインキャスターを務める。広島出身。高校まで広島育ち、ヒロシマへの思いは人一倍。

参加応募校の声

戦後75年の今年、コロナ禍のために戦争体験者から直接に話を聞く機会を失いました。戦争に対して「対岸の火事」にしないよう尽力します。——東京女子学園高等学校

コロナ禍で校外学習を行うこともままならず困っていました。今回生徒も教職員も学びを深めることが出来ればと思っています。——自由学園高等科

修学旅行が中止となり最後の思い出作りがなくなりました。平和が脅かされれば弱い存在の障害者はどんな生き方を選択することになるのか。心配は尽きません。よい学習機会ではないかと応募しました。——茨城県立水戸特別支援学校

